

ど い 土肥こうすけ

後援会ニュース2019年7月（第19号）

発行：土肥こうすけ後援会 発行責任者：出原 逸三 編集責任者：三田 哲治
〒525-0044 草津市岡本町1000番地2（ダイキン工業労働組合滋賀支部内） TEL：077-564-1153



例年がない梅雨入りの遅さで今夏を迎えています。いかがお過ごしでしょうか。蒸し暑い日が続きますので、熱中症予防の水分補給など、お体には気をつけてお過ごしください。

さて、6月22日（土）に、新たな健康増進拠点「YMITアリーナ」が、草津市野村に誕生しました。このアリーナは、2024年開催予定の滋賀国体の「成年女子バレーボール」や「少年女子バスケットボール」等の競技に使用されるため、アクセス向上のための交差点改良など会場周辺環境の整備や、市民のスポーツ参画意識の高まりなど、様々な相乗効果が期待されます。

また、このアリーナは、国体のみならず各種競技の大会会場としての利用や大規模イベントの開催などにより、市外からも多くの方が訪れる賑わいの拠点としての役割も果たしていく施設となります。

今後、このアリーナが末永く市民の皆様の健康づくりと市の発展に大きく寄与する魅力的な施設となるよう、利用者の方の声をお聴きしながら、施設運営に反映してまいります。



活動報告

■新たに整備する火葬場の施設運営費 最大12億円のコストダウンを提言



イメージパース(火葬場整備基礎調査より)

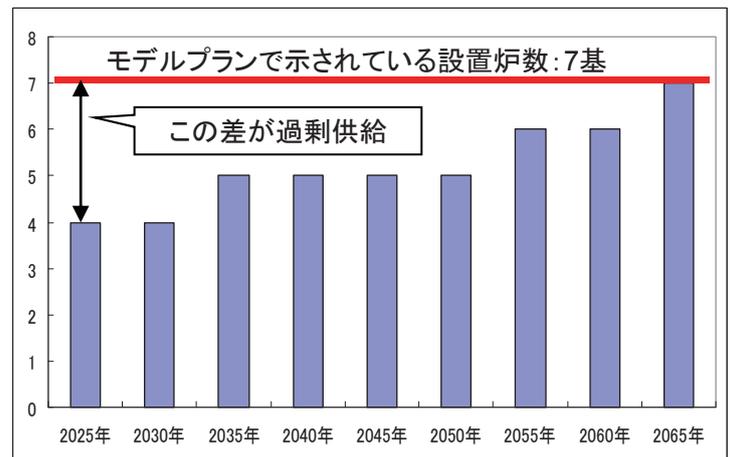
6月定例会において、前年度に草津市と栗東市が共同で実施した「火葬場整備基礎調査」の結果についての一般質問を行ない、今後の火葬場整備に向けた草津市の考え方や方向性について確認し、議論を交わしました。

市が示したモデルプランでは、需要ピークを迎える2065年の必要炉数を前提とした設置炉数となっており、このままの仕様では、供用開始からの約40年間で、およそ8億～12億円もの維持費が余計に掛かることを指摘し、火葬ニーズに応えながらも、維持費を抑えるような計画にすべきとの提言を行いました。

また、供用開始予定案（2026年度）までの約7年間は、現火葬場の炉数ではピーク時の混雑が解消できないため、その対策として、現在は1日に1件のみ設定している「[市民優先枠](#)」の拡大を求めました。

あわせて、優先枠の拡大にあたっては、火葬場使用頻度の高い曜日や時間帯を考慮して設定することも求めました。

いずれの提言についても、行政から前向きな答弁を得られ、[税の有効利用と市民サービスの安定供給](#)につなげることができました。残り任期はわずかですが、引き続き担当部局との協議を重ねてまいります。



グラフ：5年ごとに算出した必要炉数

後援会の皆様からご意見を頂きました

現在、世代や性別、地域等によって異なるニーズや困りごとをしっかりと把握し、個別解決や施策提言につなげることを目的に、仲間の協力を得ながら、後援会の方々から市政に対するご意見を聞かせていただく活動を、市内全域で展開しています。

おかげさまで、市内各地で子育て・交通・環境など様々な分野についてご意見やご要望を承りました。そうしたお声の数々を今後の市政にしっかりと反映できるよう、他市事例の調査研究や市民との対話を積極的に実施し、住みよい草津の実現を図ってまいります。

前号に続いて今回も、頂いたご意見の一部と対策案をご紹介しますので、ご一読ください。

📍 郊外の集落に住む高齢者の移動手段を考えてほしい



駅から少し離れた地域にお住まいの方から「バスの本数が減り、まめバスも来なくなった。どんどん高齢化がすすむ集落に対して、何らかの交通施策を打ち出してほしい。」というお声をいただきました。

草津市においては、昨年「地域公共交通網形成基本計画」を策定しましたが、他自治体の先進事例を取り入れるような施策は見当らず、現行路線バスやまめバスの拡充といった、変わり映えのしない施策が並んでいるため、郊外に住まれる方の困りごと解決に繋がるか、疑問が残ります。

草津市の外に目を向けると、商業施設とのタイアップによるNPO運営のバスや、福祉型乗合いタクシーなど、利用者や行政の負担を最小限に抑えながらも、地域公共交通の活性化や再生に繋がった先進事例が多数あります。

これからも、一部の地域のためだけではない、草津市全体を視野に入れた施策を提言するために、どんな方法が良いのか皆さんと一緒に考えながら、他市事例の調査研究を進め、市民の利便性が高まるように取り組んでまいりたいと考えています。

📍 子育ての孤立解消につながる支援にもっと力をいれてほしい

子育て中のママさんから「他県から引っ越してきて、周りに親戚や知人が居ない中で子育てをしています。夫は仕事から帰ってくるのがいつも遅く、相談したい時にできず不安が募るばかり。」というお声がありました。

草津市は、他市からの転入人口増が多く、市街地を中心に核家族化が進んでいます。また、ひとり親で子育てをする方も増加傾向にあります。そうした現状から、草津市では「子育ての孤立・不安」の解消にむけて「地域における子育て支援ネットワークづくり」や「ひとり親家庭等への支援」をはじめ、様々な支援事業に取り組んでいます。しかし、男女がともに担う子育ての推進にむけた取り組み等については十分ではなく、今以上に強化していく必要があります。

たとえば、子育ての孤立と不安を解消するための「24時間子育て相談ホットライン」の設置や、家庭と仕事を両立しやすい職場を増やすための「中小企業における仕事と家庭両立支援の支援」など、草津市の現状にマッチした事業に取り組んでいくべきと考えます。

そのためにも、子育てにおける様々なご不安や困りごとについて、当事者であるパパやママからさらにご意見等を聴き取り、男女とも子育てしやすいまちづくりをめざしてまいります。



☆お知らせ☆

ダイキン工業(株)滋賀製作所では、今年も納涼祭を開催いたします！
おいしい食べ物やグッズの**出店**、**盆踊り**や**打ち上げ花火**もお楽しみ頂けます。

日時: 8月2日(金) 17:20～ (花火は20:50頃)

お車でのご来場は「北門」より入門願います。
開門前のご入場はご遠慮願います。

場所: 草津市岡本町1000番地2

ダイキン工業(株) 滋賀製作所



周辺道路案内

